



まなびやまと

縦割り集会活動で友だちの輪を広げよう

子どもたちの「コミュニケーション能力」の不足が、さまざまなおで取り上げられていまま。自分の思いを上手に伝え、他人の思いを共感できる「人と関わる力」を「学校の教育活動の場でも身につけていくことが期待されています。市内小学校では、友だちと協力して活動する楽しさを味わわせたいと、さまざまに計画されています。子どもたちは、遊びを通して「人と関わる喜び」を体感しています。

南林間小学校は、「友だちの輪を広げよう」をテーマに、全校児童を異年齢グループに分けて縦割り活動を中心とした集会活動を年間4回行っています。2回目の6月27日の集会では、20種類以上の遊びの中から

好きな遊びを選んで、グループで楽しみました。高学年は、みんなを楽しくさせるよう声をかけ、リーダーシップを発揮しました。低学年は、遊びの中で、たくさん友だちをつくり、新しい経験をする中で、自分の世界を豊かに広げていきます。

4回目には、グループ対抗大なわ大会が予定されているので、大なわの練習も行いました。低学年の子どもたちは「せんせん跳べなかつた大なわが、跳べるようになってうれしい。大なわをするのが楽しい。」と懸命に取り組みでいました。

子どもたちの「コミュニケーション能力」の不足が、さまざまなおで取り上げられていまま。自分の思いを上手に伝え、他人の思いを共感できる「人と関わる力」を「学校の教育活動の場でも身につけていくことが期待されています。市内小学校では、友だちと協力して活動する楽しさを味わわせたいと、さまざまに計画されています。子どもたちは、遊びを通して「人と関わる喜び」を体感しています。

よりよい人間関係づくりができる
子どもを育てるために



こまわしのこつを教えてあげるよ



大なわ大会にむけて「がんばるぞ」

友だちつくるう、桜っ子まつり



あっと驚く！科学マジック

各クラスとも、遊びのアイデアがいっぱいでした。身近にある材料を利用し、しかも、あまりごみを出さないよ

今年度創立50周年を迎えた桜丘小学校では、11月8日に「桜っ子まつり」が行われました。「みんなで楽しく遊ぼう、友だちつくるう」をテーマに、各クラスからの出し物をみんなで見せ合いました。前半と後半に活動時間をわけ、「自分が楽しむ」と「人を楽しくさせる」ことの2つのねらいをもって活動しました。



「まんから」脳のトレーニング

また、自分の担当する遊びに参加する他学年の友だちに、ていねいに説明していました。心をこめた手作りの参加賞を配るなど、やさしく接する桜丘小の子どもたちの様子が印象的でした。



ようじにビニールテープを巻いたこまよくまわるよ

うに配慮されていました。出し物は、インターネットや本で調べたり、家の人に聞いたり……。より楽しい遊びになるよう、みんなが考えを出し合って決めました。

草柳小学校50周年行事

～箏と尺八が奏でる「つるのおんがえし」～



すばらしい箏と尺八の演奏

草柳小学校では、創立50周年を記念して、11月11日に、子どもたちと共に50周年をお祝いする式典が行われました。式典では、子どもたちに和楽器の音色に親しんでもらおうと、大和市で活動している箏の地域サークル「まこと会」（長谷川慎さん主宰）と「白鳥



しっとりした語りは物語の雰囲気にぴったりでした

会」（与田孝子さん主宰）の皆さんが、「つるのおんがえし」を演奏しました。舞台上では、大型スクリーンにいわさきちひろの絵が映し出されました。物語を語るしっとりした声と、さまざまな奏法を取り入れた箏や尺八（奥本林山さんの演奏が、びったりと合って、「つるのおんがえし」の物語をいっそう引き立てていました。

語りは草柳小PTAの読み聞かせボランティア、今宮智子さんと山口孝枝さん、PTA会長の長谷川慎さんが担当されました。子どもたちも、箏や尺八の音色のすばらしさや物語の雰囲気に感動していました。



全体会の様子

平成16年から3年間、神奈川県の研究委託校として「小学校英会話活動」の研究をしていた渋谷小学校が、11月30日に研究発表会を行いました。

渋谷小学校は、平成14年を下和田小学校と統合してから、外国籍児童が100人を超えるという「国際色豊かな学校」として、「自他の文化を理解し合い、認め合い、尊重し合い、共に生きる子ども達の育成」を目指して、教育活動を行ってきました。

30日には「楽しい英会話の授業をめざして」をテーマに、

小学校英語活動の取り組み

楽しい英会話の授業をめざして

取り組んできた実践の中から、各学年が授業を公開しました。

授業は、英語のあいさつや歌などで始まりました。担任やALT（外国人英語指導助手）との会話を通じて基本表現の練習をしながら、それを応用したゲームをすることで、楽しみながら表現の定着を図ります。

1、2年生は、自然に英語に親しみ、心から楽しんでいる様子です。また、3、4年生は、基本表現を使った寸劇を創って演じるなど「発音を学べてよかった」「いろいろな英語を使いたい」と前向きに学習に取り組む様子が見られます。5、6年生になると、自分たちでゲームを考えたり、積極的に発言したりして、英会話ができる喜びを感じているようです。特別支援級（れんげ・のぎく級）は「ももたろっ」の英語劇に取り組みました。回数を重ねるにつれて、自信をもって演技

し、楽しんでいきます。

外国籍の子どもたちは、英語をそれぞれの母国語で言い直して、友だちに教えていました。一人ひとりの子どもの特性を生かして、人との関わりを大切にする活動を行っていました。

渋谷小学校の研究を指導してくださった中部学院大学客員教授の久野百合先生は、講演「世界に心を開く英語活動」の中で、「小学校の英語活動は、中学校とはちがう力が身に付きます。子どもたちのもっている英語に対する感性を育てていきたいですね。」と話しました。



南林間小学校は、南林間中学校・県立大和西高校と隣接しており、連携してさまざまな活動に取り組んできました。特に英語活動については、大和西高校と長年にわたって、交流を深めています。

その一つとして、国際理解教育を特色としている大和西高校に、交換留学生としてアメリカの高校生が来日すると、南林間小学校に招待し、日本の小学校の様子を紹介しました。6月23日に、英語活



リコーダーの演奏をプレゼント

語の指示を高校生が小学生に分かりやすく伝え、「チャチャリズムのダンス」や、「福笑い」「道案内ゲーム」を楽しみました。

参加者は、「私は子どもが苦手だったのですが、このような関わりをもって、とても楽しいと感じています。」(大和西高校生)「去年も参加したけれど、今年のほうがずっと楽しい。一緒にダンスをしたのが一番楽しかったです。」(南林間小学校2年生)「生徒



道案内、成功！目的地に無事着きました。パチパチパチ・・・

大和西高校と連携した英語活動の推進



動の授業を公開し、その中で交流を深めました。

留学生と子どもたちが自己



音楽が終わったとき、ぬいぐるみを持ってはいけません。ばくだんゲームで、大喜び。

などのゲームと一緒に楽しみました。また、アメリカの生活について、いろいろな質問をしました。最後に、子どもたちは、リコーダーの演奏をプレゼントしました。

8月22日、24日には、南林間小学校の体育館で、「なつやすみえいごきょうしつ」が大和西高校の主催で開かれました。楽しい英語活動にふれながら、交流を図ることが目的です。

大和西高校の先生が話す英

たちは積極的にコミュニケーションをとろうと努力してい



アップ、アップ、英語で教えるよ

それぞれ感想を語っていました。



みんなで踊ろうチャチャリズム

一人で悩まないで

大和市では、いじめのない、安全・安心で楽しい学校づくりに努めています。いじめ問題で悩んでいる方、子どもの学校での様子で気になることがある方は、ぜひ相談してください。青少年センター内青少年相談室、または、市役所本庁舎2階教育委員会指導室に直接おいでください。また、電話でもお受けいたします。匿名でも結構です。秘密は厳守いたします。なお、各小中学校では、スクールカウンセラーや専門の相談員を配置して、保護者やお子さんと相談できる体制を整えています。

- 大和市青少年相談室
(平日8:30~17:00)
◎いじめ110番フリーダイヤル
(0120) 874255
◎ヤングテレフォン
(260) 5040
◎親と子の相談室
(261) 7830
大和市教育委員会指導室
(平日8:30~17:00)
◎教育相談 (260) 5210

子どもたちの安全を守る取り組み



7月15日、連携のとれた実効的な防犯活動の構築をめざし、第1回西鶴間小学校区防犯会議が開かれました。土曜日の開催でしたが、自治会をはじめ多くの団体の協力により約40名の参加がありました。主として、登下校の子どもたちの安全を守るための取り組みについて、それぞれの立場から報告がされました。学校からは特に「家の近くで一人になる所」が危険であることが話され、協力が求められました。子



「子どもたちの安全のために」
西鶴間小学校区防犯会議



子どもたちが作成した
「地域安全マップ」

どもたちを「地域全体が連携しながら見守っていくこと」を確認し合い、会議を終えました。

また、大和東小学校の4年生は、9月28日に、立正大学の小宮信夫教授の指導のもと、安全なまちづくり課や防犯協会と協力して、「地域安全マップ」を作成しました。その成果は11月18日の土曜授業参観で発表され、たくさんの方の保護者や地域の方が参観しました。

「一人に注目するのではなく、場所に注目しよう」「入

りやすく、見えにくい場所をチェックしよう」という学習から、自分たちが調べ活動した地区の「見えにくい場所」をさがし、どうしてここが危険だと思ったかを発表しました。

校長先生は、「マップを作ったおかげで、子どもたちの周囲を見る視線が変わり、危険を防ごうとする意識が高まりました。『地域で子どもを守り、育てる』という取り組みには、見守ってくださる地域の大人の協力と温かいまなざしが必要です。」と話しました。



写真を使って説明する子どもたち

中学生が大活躍

さまざまなか場で中学生が活躍しています。

部活動での日ごろの練習成果を発揮し、県大会・関東大会・全国大会に出場することをはじめとして、ボランティア・職場体験・環境活動などです。これらの体験活動を通して、社会性を身に付けたり、自己有用感を養ったり、自分の夢に向かって踏み出すきっかけを得たりしながら成長することは、たいへん意義のあることです。



おもしろ科学館で受付をする中学生

8月19日に桜丘学習センターで行われた「やまとおもしろ科学館」では、中学



「しゃぼん玉はすごい！」
で活躍する中学生

生が、受付・用具の準備・片付け、ブースの手伝いなど、一日一生懸命に活動しました。

また、11月3、4日に行われた「環境フェア」では、クイズラリーの実行委員として、市民の皆さんとふれあいながら活動しました。



クイズラリーを担当する中学生

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。気軽に読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。